

平成医療福祉グループ関連病院を受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題：食事形態の変化と食事摂取率の関係—回復期リハビリテーション病棟における検討—

(採択番号：005)

1. 研究の対象

平成扇病院の回復期リハビリテーション病棟を2023年4月から2025年3月までの間に退院した食事形態の変更があった患者様

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんがしっかり栄養をとることが、体の機能を取り戻すためにとっても大切です。そのため、患者さんの飲み込みにくさ(嚥下機能)やかむ力(咀嚼能力)によって、出される食事の形をやわらかくしたり、細かくして食べやすくすることがあります。また、食事の形は、視覚的印象や食感の違いを通じて食欲に大きく影響を及ぼします。ただ、食事の形を変えることで、すぐそのあとの「食べる量」がどう変わるかについては、まだよく調べられていません。そこでこの研究では、食事の形を変えることが、患者さんの「食べる量」にどんな影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。

方法：電子カルテ(患者さんの記録が入っているコンピューターのデータ)を見て、すでに存在する情報をさかのぼって集め、分析します。

- 研究期間：2025年11月～2026年12月

3. 研究に用いるデータソース

- 電子カルテから収集した以下の項目
年齢、性別、疾患、食事形態、食事摂取率、認知機能、日常生活動作、入院期間
- 研究データの収集期間
2023年4月～2025年3月に退院した患者さん

4. データ保管方法等

- データは、全て仮名加工情報と呼ばれる匿名化をし、セキュリティが確保されたクラウド上で保管します。データには、研究者のみがアクセスできるものとします。
- データは、研究終了後5年間同様に保管し、その後完全に消去いたします。

5. 研究実施に際し行う倫理的配慮

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り人権擁護に最大限配慮して実施いたします。

個人情報(診療記録データ等)は本人と特定できないよう仮名加工情報として管理します。本研究で得られた結果については、医学関連の学会や学会誌において発表予定ですが、個人を特定する情報は外部に一切公表いたしません。本研究での情報の利用を望まれない方は情報の利用を停止いたしますので、6. お問い合わせ先までお申し出ください。試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、情報の利用停止をお申し出いただいた患者さんが不利益を受けることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

お問い合わせおよび研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究機関名 : 医療法人社団大和会 平成扇病院

所在地 : 〒123-0873 東京都足立区扇3-26-5

連絡先 : 電話 03-3855-5500

e-mail : shinboku.rie@hmw.gr.jp

研究責任者 : 管理栄養士 新木理恵